

# 小学5年 国語科「古典を楽しむ」

柏市立光ヶ丘小学校 亀田 大貴

## 1. 単元目標

- 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知識及び技能)
- 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 進んで昔から読み継がれている物語を読み、自分が選んだ「古典作品」についてポップにまとめようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 情報活用能力育成をめざす単元づくり(全6時間扱い)

### (1) 単元について

紹介された「古文」を音読して文章のリズムや響きを感じて読み味わい、その感想を書いていくことを目的とした単元である。児童にはそれぞれの「古文」とその解説を照らし合わせて音読させ、内容の大体を理解させていく。また、作品について調べ、整理していきながら数多くある作品に触れさせていく。そして、作品の世界観を想像したり現代にも残る作品について考えたりすることを通して昔の人のものの見方や考え方に繋げ、ポップを作成することで多くの人に古典の良さを知ってもらう課題を設定していく。

### (2) 学習計画

	時	学習内容	留意点
1 課題の設定	1	○教科書の3つの物語の一部を読んで「古典」について知り、「古典のおもしろさをポップで全校に広げよう」という課題を設定する。	・事前に図書資料を用意して触れる時間を確保し、意欲を高められるようにする。 ・時代の様子や作者の思い、作品の良さについて考えていくことを全体で確認する。
2 情報の収集	2	○作品について調べ、年代や作者、現代で読まれている作品などについての情報を集める。 ※スプレッドシート使用	・調べる際に、年代や作者、現代の著書などの視点を明確にする。
3 整理・分析	3	○前時で集めた情報を整理し、考えていく作品を選択する。 ※スプレッドシート使用	・分類分けする項目を提示して児童が適切に整理し、選択しやすいようにする。

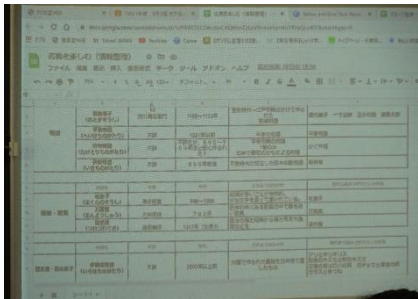
	4 本時	○作品の情報を基に感じたことを書き出し、「古典のおもしろさ」を共有する。 ※スプレッドシート・Jamboard 使用	・挿絵や現代語訳, 必要に応じて動画を使用し, 様々な視点から感じたことが書き出せるようにする。
4 まとめ・表現	5	○学習で触れてきた古典作品から一つ選び, ポップを作成する。 ※Jamboard・Canva 使用	・作成するポイントを絞り, 作品の良さやおもしろさ等がポップに入るようにする。
5 振り返り・改善	6	○他者のポップを読み, 様々な古典作品に触れる。 ※後日, 作成したポップを図書室に掲示してもらう	・複数のポップを読むことができるような場を設定する。

### 3. 本時について (本時 4/6 時間)

#### (1) 本時の目標

○グループで作品の世界観について想像し, 昔の人のものの見方や感じ方について考えることができる。(思考力・判断力・表現力等)

#### (2) 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>1. 学習課題をつかむ</p> <p>○単元を貫く学習課題である「古典のおもしろさをポップで全校に広げる」を再確認し, 前時までの学習内容を振り返る。</p> 	<p>●【タブレット端末】</p> <p>前時までの学習を想起するために, スプレッドシートで分類分けした情報を確認する。</p>
展開 ① 10分	<p>2. 【個の学び①】</p> <p>○古文や現代語訳, 集めた情報等を基に作品についての感想を書く。</p> <p>・スプレッドシート: 前時に整理した情報</p>	

古典作品のおもしろさを共有しよう。

- ・ Jamboard : 時代の様子→黄色  
作品のおもしろさ→水色  
作者の思い→緑色



展開  
②  
15分

### 3. 【協働の学び①・②】

- それぞれが打ち込んだ付箋を基になぜ、そのような感想を持ったのか理由等を共有する。
- グループ内で「なぜ古典作品は昔から読み継がれているのか」について意見交換する。



展開  
③  
8分

### 4. 【個の学び②】

- 意見交換を参考に自分なりの「なぜ古典作品は昔から読み継がれているのか」の理由を Jamboard にまとめる。

終末  
7分

### 5. 【発表・次時へのつなぎ】

- 理由を数人発表する。
- 次時から紹介するポップを作り始めることを予告する。

### ●【タブレット端末】

Jamboard の付箋に感想を打ち込む。どの視点なのかを明確にするために付箋を色分けする。

●挿絵や現代語訳等を示しながら説明するように促す。

●支援が必要な児童にはグループ交流を参考にしながらまとめるように声かけをする。

●教師が作成した例を提示する。

●学習をまとめ、次時の課題へつなげる

### (3) 情報活用能力のプロセスと育成を図るポイント

課題の設定		情報の収集		整理・分析	◎	まとめ表現		振り返り改善	
-------	--	-------	--	-------	---	-------	--	--------	--

#### ○整理・分析のポイント

- ・Jamboard に挿絵や現代語訳等を背景に設定しておき、複数人が付箋を使いながら感想や意見を書き込むことができるようにする。
- ・前時までに収集してきた古典作品の情報を一覧でスプレッドシートに整理し、Jamboard と同時に扱うことができるようにする。
- ・整理された情報を参考にしながら本時の課題（分析）に取り組むことができるようにする。

#### 参考資料1 2時間目の情報収集（スプレッドシート使用）

	作者	年代	種類	どのようなものか	現代まで読みつがれている作品
竹取物語	不詳	不詳だが、800～900年ほど前に作られた?	物語	平安初期の物語 1巻のみ 日本で最初のかなによる物語	かくや姫
平家物語 (へいけものがたり)	不詳	1221年以前	平家物語	平家物語	平家物語
伊弉保物語 (いそほものがたり)	不詳	2500年以上前	仮名草子	外国で作られた童話を日本版で直したもの	アリとキリギリス 田舎のネズミと町のネズミ 王様の耳はロバの耳 ガチョウと黄金の卵 カラスときつね
御伽草子 (おとぎそうし)	渋川清右衛門	1185～1133年	短編物語	室町時代～江戸初期にかけて作られた短編物語	猫のさうし 一寸法師 玉水物語 浦島太郎

#### 参考資料2 3時間目の情報整理（スプレッドシート使用）

	作品名	作者	年代	どのようなものか	現代まで読みつがれている作品
物語	源氏物語 (げんじものがたり)	紫式部	1008年（平安時代）	平安時代の貴族社会を描いたもの	源氏物語
	御伽草子 (おとぎそうし)	渋川清右衛門	1185～1133年	室町時代～江戸初期にかけて作られた短編物語	猫の草子 一寸法師 玉水物語 浦島太郎
	平家物語 (へいけものがたり)	不詳	1221年以前	平家の物語	平家物語
	竹取物語 (たけとりものがたり)	不詳	不詳だが、800～900年ほど前に作られた?	平安初期の物語 1巻のみ 日本で最初のかなによる物語	かくや姫
	伊弉保物語 (いそほものがたり)	不詳	900年前後	平安時代に成立した日本の歌物語	筒井筒
随筆・歌集	枕草子 (まくらのそうし)	清少納言	996～1008	短編が多いことが特徴的。 かな文字を使って書かれている。	枕草子
	万葉集 (まんようしゅう)	大伴家持	783年	日本の中にある歌集の中で最も古い歌集。	万葉集
	徒然草 (つれづれ草)	吉田兼好	1317年（文保1）	自分の得た経験から得た考えや逸話などを	徒然草

#### 参考資料3 本時で児童がグループで共有した内容（Jamboard 使用）

読みつがれている理由

せつかく田舎ネズミが町に行つたのに何れも食べられなかった所

どんなにたくさんの役も食べ物があつても食べて食べたら美味しくない

田舎のネズミが都へ行って新ぶが来て居てたところ

魚いところに行つても買れないところだから食事に困る。というところも作は思えなかった。

街に行つたのに何も食べなかった事

子供でも読みやすいように書かれているから

都会や田舎がありお金もある

食事、住み方が違つて面白

子供でも読みやすいように書かれているから

ストーリーが面白いから

食事、住み方が違つて面白

海で魚を取つて両親を養つている。

浦島太郎が、亀には、あまり態度が良くないけれど女の人には態度が良いのが面白いと思う。

本によって書いている内容が違う

今の話と、昔の話には、少し違いがあった。

#### 参考資料4 Canva で作成したポップ



#### 実践を終えて

- ・小学校の「古典」の単元ということで、内容に深く入りすぎず、古典の楽しさやおもしろさを児童が学習を通して感じることができるよう単元を構成した。また、古典作品についても児童が親しみやすい、すでに知っているものを中心に選択した。
- ・本単元では、情報の収集や整理でスプレッドシートを使用することで、学級全体で情報を共有することができ、個々でもいつでも振り返ることができる点が良かった。
- ・本時では、1人1台端末を使用することで、グループで収集した作品に関する情報を複数人が同時に見ながら作業することができた点が良かった。また、他者の考えを参考にしながら自分の意見を書くことができる点が良い。
- ・本学級は「古典の学習」ということだけで難しいイメージを持ってしまう児童が多いため、並行読などを通して作品に触れる機会を多く持ち、学習に取り組みやすくした点が良かった。単元後半は前半より自ら古典作品に触れようとする児童が多くなった。難しいイメージのまま学習が進んでしまわないように気を付けると良い。
- ・スプレッドシートとJamboardの操作に時間がかかってしまうと、操作に重点が置かれてしまい、学習課題に対する学びが薄れてしまうことは気を付けなければならない。日常から端末を扱っていくことが授業に繋がるため、積極的に扱うことが重要である。